

食感が魅力のキュウリ



安心して喜んでいただけるキュウリをお届けできるよう、責任を持って部会員一丸となって取り組んでいます。

部会長 大倉 雄太郎



キュウリの担当 山野邦彦です

よう、部会員が力を合わせ「猛暑にも負けない栽培技術」をしっかりと身につけ、安定した出荷と品質の維持を目指して日々努力しています。

■熊本県はキュウリの一大産地です。年間およそ14,000トンものキュウリが生産されています。県全体の収穫量は全国トップ10圏内に入り、菊池地域も生産拠点の一つとして知られています。

■菊池管内では西合志、泗水、七城で施設園芸が盛んで、ハウスを活用したキュウリ栽培が行われています。ハウス栽培を取り入れることで、秋雨の長雨による影響を大きく抑え、安定した生産と出荷を実現しています。

しかし、夏場の作業は非常に大変で特に8月から9月にかけての定植期から収穫初期にかけては、ハウス内の温度が日中40度を超えることもあります。作業環境は非常に厳しく、生産者は早朝や夕方 of 涼しい時間帯を上手に活用しながら、丁寧に管理を続けています。また、適切な換気や遮光などの工夫も行い、高温対策に取り組んでいます。

■最近猛暑の影響で花落ちや実焼けといった高温障害が増え、収量が減ってしまうことが多く、生産者にとって非常に厳しい状況が続いています。このようにさまざまな気候条件に対応しながら、安心して食べられる高品質なキュウリをお届けできる

シャキッ！パリッ！

新鮮でみずみずしい!!

令和7年度 部会員16戸
栽培面積 3.0ha
キュウリ出荷期間 8月～12月下旬
出荷先：中国地方・九州管内を中心に出荷

